

様式第2号（第5条関係）

平成26年 3月18日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦 様

栗山町議会議員 鵜川和彦



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成25年11月18日 ～ 平成25年11月20日まで
- 2 旅行先 大阪府泉佐野市議会、千早赤阪村議会
- 3 目 的 財政健全化と議会改革（議員定数、報酬）について
- 4 関係書類 別紙のとおり

日 時	平成 25 年 11 月 19 日
視 察 先	泉佐野市
調 査 事 項	財政健全化
対 応 者	担当職員
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策 提言、課題な ど)	泉佐野市に入るとこの街が財政難なのかと不思議なくらい北海道の各市と比べて活気に満ちていました。 関西国際空港の玄関先ということで、借入金をして土地開発公社で事業していわゆるハコモノを造り思った通り売れなかったのである。それで、将来負担比率が早期健全化比率（イエローカード）になったわけですが夕張市とは、大違いで将来大きく化ける優良な財産のように感じた。 ただ、身の丈以上の投資、マネジメントの問題はあるが。しかし、職員も夕張市のような暗さはなく、計画的に不良（私はそう思わないが）債権を粛々と進めていっているように思えた。今後、展開次第では、大きく好転するような魅力的な市であった。財政健全化計画書を作成し、計画期間平成 21 年度から平成 39 年度まで 19 年間である。主な内容は 歳入確保策では、 ①市税等の徴収率の向上 ②各種使用料・手数料の改定ルールの設定及び有料化 ③遊休財産の処分等 歳出削減策では、 ①退職不補充等による定数削減・給与等の引下げ等の人件費削減 ②個人給付等の廃止・縮小による扶助費抑制 ③施設管理・イベントその他事務事業の廃止・縮小その他経費削減 ④保育所民営化・各種施設の指定管理者制度導入その他委託化の推進 ⑤各種団体補助・助成事業の廃止・縮小による補助金等の整理合理化 ⑥事業計画の先送り等による投資的経費の抑制 ⑦地方債の借換え等による公債費抑制 である。栗山町の 21 改革プランと本質的には同じであるが前に述べたように町の潜在力の大きな違いがあり、うらやましいと思った。

日 時	平成 25 年 11 月 19 日
視 察 先	千早赤坂村
調 査 事 項	議会改革（定数と報酬）
対 応 者	議長・副議長・議会運営委員長・議会事務局長
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 （感想、政策 提言、課題な ど）	千早赤坂村、大阪府でただ一つの村で、人口 5,884 人議員定数 7 人（7 期以上 3 人）である。 議長と副議長そして議会運営委員長 7 期以上の大ベテランがお忙しいにも係わらず対応していただいた。 まず、感じたことは、議員報酬が高く、市なみだということである。対応してくれた議員いわく、議員定数をさげ、議員報酬を下げるのが議会改革でない。 それは、その通りであると思いますが、3 人が談合すれば全てが牛耳れる感じがしました。 市町村合併も何度か破綻しています。議会が NO といえれば全てが出来ない訳ですから、何人の有力者が変な連合すれば、ある程度自由になるともいえず、千早赤坂村議会がそうであるという意味でなく、あまり議会定数が少ないと危険な感じがしました。 しかし、正々堂々と議員報酬を主張してもらっている （議長 340,000 円・副議長 320,000 円・議員 295,000 円 栗山町議長 300,000 円・副議長 239,000 円・議員 196,000 円） ところはさすがと言うべきか感心しましたし、ベテランの自信がみえました。 全体として、議員としての権威はもっているが、議会として住民にはいり、説明責任を果たす意識は希薄にかんじました。